

令和5年度寿楽荘事業計画・収支予算(抜粋)

基本方針

新型コロナウイルス感染症が国内で確認されてから3年以上が経過し、漸く5類への移行が具体的となったことで、利用者・ご家族から面会ほか行動制限の緩和策を求められることが予想されます。基礎疾患のある高齢者の方が利用される施設の対応としては、一般的な行動制限の緩和策に準じることは難しく、国や都から示されている高齢者施設従事者や面会者に対するマスクの推奨に関しても、しばらくの間は必須として対応していきたい。高齢者施設従事者はマスク着用を励行することで、一般生活においてはマスクを着用していることによるハラスメントを受ける可能性もありますが、施設で生活をされる利用者の安心・安全を担保するためPPEの着脱訓練の継続ほか感染症BCPに基づき事業を行っていきます。

職員の確保に関しては、人件費率も考慮しながら外国人実習生・就労者も含め各職種とも募集・採用を引き続き行い、育児・介護休業等労働者の権利の行使が円滑に行える運営を目指します。

大規模修繕に向けた収支の黒字化は現時点では困難が予想されますが、中・長期計画に則して目標達成を目指します。令和2年度の不適切な介護サービスについては、今後も業務改善計画を基本に再発防止にむけ全職員に向けた研修に取り組むほか、発生要因の一つである現場職員のストレスや不安感を解消できるよう職場環境の整備にも努めます。

重点目標

(ア) 虐待防止等改善策の強化と周知徹底
業務改善計画に基づく介護サービスの適正化に努めます

(イ) 感染症や災害への対応力強化
感染症・災害時対策として策定したBCPの定期的な見直しおよび委員会による訓練(シュミレーション)を計画します。

(ウ) 介護人材の確保・介護現場の革新
若年層の雇用促進と再雇用制度の充実および外国人人材の確保に努めます。
労働環境の整備として衛生委員会の機能を強化し労働状況の適正化に努めます。

(エ) 創立時よりの理念(理想)、目標の周知と再認識
【愛情、人の和、信頼関係の中での慈悲を理想に利用者自体が主体となって生活をエンジョイできる施設を目指していきます。】これら理念と目標の周知・再認識に努めます。

運営管理計画

1. 新規購入部門

厳しい財政状況の中でも、直接利用者の生活へ影響の出る恐れのあるものから更新を計画し、必要な修繕への対応も慎重に進めていきます。

感染症発症時に向けた対策強化、物品等の備蓄整備。

その他随時(必要な場合のみ)

2. 経費対策部門

令和5年度、更に高騰されるといわれている電力の使用量、燃料費の削減と対策。

ゴミの削減、分別徹底等への取り組み。

3. 基本的管理部門(継続部門)

消防計画・震災計画・感染症等事業継続計画の周知徹底、防災機器の管理強化。

利用者預り金「保管・整理・取り扱い」の的確な把握。

健康保険証マイナンバーカード一体化への対応。

諸規程の整備及び備品管理の徹底。

施設内外の清掃、除草、乾燥期における加湿器使用時の結露対応等の徹底。

詳細は事業計画書をご一読ください。

| 資金収支計算書(当初予算) | | |
|----------------------|--|-------------|
| 勘定科目 | | 寿楽荘会計 |
| 事業活動収入計 | | 824,156,000 |
| 事業活動支出計 | | 821,701,000 |
| 事業活動資金収支差額 (-) | | 2,455,000 |
| 施設整備等収入計 | | 0 |
| 施設整備等支出計 | | 4,000,000 |
| 施設整備等資金収支差額 (-) | | -4,000,000 |
| その他の活動による収入計 | | 16,796,000 |
| その他の活動による支出計 | | 15,000,000 |
| その他の活動資金収支差額 (-) | | 1,796,000 |
| 予備費支出 | | 251,000 |
| 当期資金収支差額合計 (+ + -) | | 0 |
| 前期末支払資金残高 | | 351,965,127 |
| 当期末支払資金残高 (+) | | 351,965,127 |